



教育センター・育成センター所報

GALILEI



新しい教育 柏崎からの発信

インターネット版は
柏崎市教育情報支援システムを検索し、トップ画面の
右上「GALILEI」をクリック
してください。

平成 20 年 8 月号

柏崎市立教育センター

柏崎市青少年育成センター

(維新の先達 吉田松陰 参照) (mt. jin)

特 集

中越沖地震から 1 年を過ぎて

～児童生徒の心のケアでの留意点～

教育相談係長 小 林 東

早いもので中越沖地震発生から 1 年余が過ぎました。昨年の大変だった灼熱の夏休みが昨日のここのように思い出されます。1 年間、教育センター教育相談班では、通常の相談活動の他に「災害後の市内児童・生徒へのこころのケア」に携わってきました。総体的に子どもたちは順調な回復を見せる一方で、一部には、未だにショックが癒えず、あるいは、生活上の適応が思わしくないケースも見られ、現在も継続的な心のケアを実施中です。

大きな災害に遭遇した後の回復にはプロセスがあり、その時期ごとに留意しておきたい事柄があります。1 年が過ぎた現在の時点で知っておきたいことやその対応について述べたいと思います。

1 記念日反応について

命にかかわるような恐怖や存在を脅かされるような強いショックを体験した後一周年（記念日）など、また、同じような気候や季節の時期に、その出来事に関連する記憶や問題が浮上しやすくなるといわれています。症状の出方には個人差がありますが、身体症状、行動上の問題、退行現象、否定的な考えなどが考えられます。

＜どう対応したらよいか？＞

- (1) 子どもに安全と安心感をあたえる。子どもの傍に居てあげる。
- (2) 子どもが思い出して語りだした時は、丁寧に話をきく。「今になってもまだそんなことを言っているのか」というような返し方はせず、子ども一人ひとりの体験は違うことを頭において、表現できたことを認め、受け止める。
- (3) 子どもが楽しみにしていること、好きなこと、夢中になれること、スッキリするような身体活動、特別な行事等と一緒に取り組むことを通して、友人同士や家族同士の一体感が体験できるようにする。
- (4) 子どもが、否定的な考えや抑うつ気分が強まっていることに気付きにくい場合があるので、必要に応じてスクールカウンセラーや専門機関の活用を図る。
- (5) 上記の項目を保護者にも理解してもらい、家庭でできることをお願いして、学校と家庭との連携の中で子どもを支えていく。

2 体験の整理・再構成そして社会化へ

この地震で私たちは大切な人・もの・場所・関係等を失う体験をしてきました。そして、こうした過酷な現実を受け止め、乗り越えようとしてきた一年でもありました。一周年にあたって各々の心の中に『記念碑づくり』をしてこれからの生活に活かしていきます。「この一年を振り返って、その時どう感じたか？今はどうか？」「地震で辛かったこと、良かったこと、学んだこと」「これからの生活で取り入れていきたいこと」

などをテーマに話し合ったり、授業で取り上げたりして、各々の心の整理ができるようお手伝いください。この機会に心理教育（大変なことに遭遇と心身の反応が起きるのは自然なこと、こうしたことが起こっても人と繋がること、話すこと、考え方を考えることなどにより乗り越えられること）を取り入れること等も役立つと思います。また、こうした作業を通じて児童生徒だけでなく先生方もセルフケアをしてください。

<参考>

◆遅発性PTSDとは？（災害から数ヶ月以後）

災害後に、特に問題なく過ごしていた子どもや、一時的に不安や恐怖が認められていても症状が消失していた子どもが、数ヶ月以上経過した後に、PTSDの症状を現す場合がある。祭日、行事、学期の終了、新学期の開始等の時に発生しやすく、例えば、友だちが死亡した場合等には、「去年の運動会にはA君と一緒に走ったのに・・・」といった考えが起こりやすく、それに引き続いて、睡眠障害や集中困難、焦燥感等が出現することがある。

◆対応の方法

たとえ落ち着いていた子どもでも、災害発生時の状況に類似したり、同じ条件が重なりやすくと、再び不安定になるので、日ごろから注意深く観察し、子どもに安心させる状態を準備しておく。

Q&A

「事件や事故等の慰霊祭等を実施する時、アニバーサリー（記念日）反応が起こることがあると聞きましたが、子どもに対して配慮すべきことを教えてください。」

いったんは、落ち着きを取り戻したかに見えていた子どもが、慰霊祭や追悼式などが刺激となって、事件や事故等のトラウマとなった体験の記憶がよみがえり、症状を再発させたり、これまでに見られなかった反応を生じる場合があります。また、災害があった一年後や二年後などが近づいたことによっても同様の反応が現れる場合もあり、これをアニバーサリー反応といいます。慰霊祭等を実施する場合、あるいは一周年などが近づいてきた頃に、子どもがどのような反応を経験する可能性があるのか、それはどのような理由によるものかなどを子どもや保護者に伝えておくことが重要です。また、症状や反応が起こった場合には、どのような対応が可能かを子どもと一緒に考えるようにすることも有効です。

また、慰霊祭を開催する場合には、その時期を慎重に検討する必要があります。一般的に事件や事故等のトラウマからの回復には、成人よりも子どもの方が長い期間を要します。そのため、慰霊祭をあまり早い時期に実施した場合、子どもがその刺激に適切に対応できる状態になっていない場合があります。こうした集会の開催は、子どもの様子を詳細に観察して、実施時期を検討する必要があります。

※一部掲載：「非常災害時における子どもの心のケアのために一改訂版」（文部科学省）

「知らない」と言えない？

青少年育成センター

所長 涌井 昭夫



「格の違いという言葉は、大人社会では最近あまり使われなくなっているが、逆に子どもの世界で広がっている」という新聞のコラムを目にしました。「格」という言葉を、この場合は「身分」とか「位」や「等級」という意味で用いているようです。格下の者から格上の人に物、例えばバレンタインデーの「友チョコ」（義理チョコではなく友だちチョコ）をあげることは、格上の相手に迷惑をかけることになるのだそうです。

記事を読み進めると、「格付け」は小学生ではあまり意識することではなく、どうやら中学生頃から始まり、高校生や大学生の間で広がっているようです。友だち同士が「格付け」による上下関係に縛られ、それがあつた種の閉塞感を生み出しているとも述べていました。ちなみに、何が上下の格を決めるかということ、次のことです。

○外見（特にファッションや体型）

○発言力（流行に直結した豊富な情報量や最新のギャクや言葉の言い回し）

○先生にかわいがられている度合い

若い人たちがよく使う「空気を読む」という言葉があります。「知らない」と素直に言うと、「空気の読めない奴」となるようです。「知らないと言えない、言いたくない」ために、友だちとの会話に合わせるために、自分の興味のあるなしに関係なく、友だちが興味を示すテレビ番組や歌、人気タレント情報、ファッション情報や雑誌などを必死に自分のものにしようとしています。それが格を高めることに繋がるものと考えて・・・。

こうしたことに限らず、流行やブームの火付け役として、女子中高生がリード役を果たすことが多く見られます。古くは「イチゴ文庫」「ガングロ」「ルーズソックス」など、数えあげればきりがありません。「繊細な感覚」「物事に敏感」という一面もありますが、「流れに乗り遅れたくない」という脅迫心理が一番強い世代になっているのかもしれませんが。そして、結果として「本当の自分を隠す」ということになり、最悪の時は「自分自身を見失う」ということに結び付いてしまいます。

こうした意識が蔓延していく傾向があり、それが結果として「メル友」の輪を広げることに結び付いています。見ず知らずの人だからこそ、気配りの必要もなく、現実の自分と異なる虚像を演出できる楽しさもあります。「周囲の人が自分をどう受け止めているか」ということに、あまりに無神経であることも問題かもしれませんが、あまりに神経質になることもどうでしょうか。自分で思っていることや感じたことを素直に表現できないことは、・・・。

我が家の3人の子どもは家を出て一人で生活しています。家内は電話よりメールを多用しますが、私はメールではなく電話を優先します。電話口の声や口調で、そのときの心理状況も推し量られるからです。

No.82	平成 20 年 8 月 28 日発行	柏崎市立教育センター	945-0833 新潟県柏崎市若葉町 2-31 TEL:0257-23-4591 FAX:0257-23-4610
-------	--------------------	------------	--



7月・8月は、たくさんの研修講座に多くの方から参加していただき、ありがとうございました。みなさんからお寄せいただいた感想やご意見をもとに、これからもよりよい研修運営に努めてまいります。今後ともよろしくお願いします。

7月中旬から8月上旬に行われた研修講座の様子を参加者の感想をとおして紹介します。

7月10日(木) 教育論文

市教委学校教育課長 涌井 昭夫

講師先生の豊富な経験から具体的なご指導をいただき、意欲をもつことができました。また論文を読まれる立場として具体的に「テーマが大きすぎる、小さすぎる、わかりにくい」などの指摘にはうなずけるものが多く、分かりやすい指導でした。

「論文を書くために実践しているのではない」「いい実践をしても、論文に表すことができない」と、論文を書くということをいつも遠ざけていました。しかし、今日、涌井先生のお話を聞いて、自分でやっている取組をしっかりと振り返るため、どうして子どもが変わったのか、そういう結果になったのかを理論的に考えるためにも、論文を書く機会を大切にしたいと思います。ありがとうございました。



7月11日(金) 保護者への相談・対応

柏崎市立教育センター 小林 東

今までの保護者対応をふり返り、様々なケースを思い出しました。興奮してやってきた保護者の話を傾聴することで、最後は保護者が心を落ち着けて笑顔で相談を終えることができたケース、子どものことが不安で助言を求めてやってくるケース等、いずれのケースも今まで同様、誠意をもって対応していきたいと思います。また、相手の準拠枠に合わせた対応も心掛けていきたいと思います。

「子どもの成長」を願い、目指すという唯一最大の目標のもとでは、親も先生も同じ土俵に立つ協働作業者だということですね。親サイドも学校の情報と先生の熱意が伝われば安心でしょうし、学校も親から情報をいただく中で、共に同じ課題に取り組もうとする姿勢を提示していくことが大切だと思いました。資料の中で、具体的な言葉(使えるセンテンス、落胆する言葉)が、すぐに役立ちそうで良かったです。ありがとうございました。



7月16日(水) 生徒指導体制の在り方と機能

柏崎市立教育センター 矢沢 欣也

たいへん多くの資料が、そのまま学校に戻って役立ちそうです。生徒を指導していくには、生徒―保護者―教師の人間関係が大切であり、欠かせない基盤である。また、それをこわすような指導は絶対にあってはならないことが、具体的な説明でよく分かりました。明日からの職員への助言に生かします。

今年度初めて生活指導主任となり、よくわからないままゴタゴタやってきました。今回の研修で「生徒指導」の役割を理解することができました。事後処理だけでなく、子ども一人一人の人間形成に向かったの夢のある役割だとわかりました。コーディネーターとしての役割、より頑張っていきたいと思います。それには子どもたちとのコミュニケーションはもちろんのこと、職員同士のコミュニケーションのかけ橋となれるよう「職朝での一言」まずはここからやってみようと思います。ありがとうございました。

7月17日(木) 算数教科指導法

上越市立三郷小学校長 丸山 吉次 様

新旧の学習指導要領、算数科の目標を対比しながら、新学習指導要領で大事にすることを詳しく説明していただきました。キーワードについて、事例をもとに分かりやすくお話ししていただき、とても勉強になりました。ありがとうございました。思考のプロセスを大切に、既習事項を使って言葉の式や、図の式、具体的な操作を用いて自分の考えを説明できるようにしていきたいと思います。「わかる授業」「たのしい授業」を心がけて いきたいと思います。ありがとうございました。



7月18日(金) 子ども生き生き思いっきり支援ツール

香川大学 教授 武蔵 博之 様

現在、特別支援学級を担任し、一人一人に合った支援をすることの難しさを感じているが、今日武蔵先生の話聞いてとても参考になった。これからの子どもの指導・支援に生かしていきたい。

支援の具体例をたくさん示していただき参考になりました。特に、障害のある人を囲むネットワークをつくるという点では、子どもを語る会などで共通理解をしていたつもりでも、そうなかったのだということを改めて感じました。困ったときの対応や影響しやすい要因等を伝えておく、いつでも誰でも分かるようにしておくことは、大切ななあと感じました。今日はどうもありがとうございました。



7月28日(月) 学校図書館の運営について

ソフィアセンター館長代理 笠井 吉正様
柏崎市立教育センター 中山 博迪

中山先生の実践に基づいた講義が具体的で分かりやすく、とてもよかった。保護者や地域に協力を求めることで、いろいろな活動ができるのが分かった。また人との関わりを大切に活動が印象的だった。読んでもらった喜びを味わった子どもは本に興味をもつし、自分も人に読んであげたくなるのだと思った。当校は、保護者ボランティアとの打合せ会が今夜あります。早速活用させていただこうと思います。ありがとうございました。



7月30日(水) 環境教育実践プログラム

柏崎・夢の森公園 遠藤 亮 様

机上の知識でなく、体験・感動することが実践力につながると感じました。ただ楽しかったで終わらせないために、ここでの体験の前後に学校でどういう活動を組むべきかを考えさせられました。今日は生徒にどのようなものを提案・提示できるか、



自分のポケットを増やすために来たのですが、数も増え、中身もふくらみました。ありがとうございました。

7月31日(木) 学校事務職員に求められていること

第一中学校長 大倉 政洋 様

共同実施という今まで経験したことのない仕事のあり方に直面して右往左往している中、今日の研修に期待して出席させていただきました。いつも講師の大倉先生のお話は筋の通った分かりやすい勇気をもたらえるものと感じていましたが、本日もまさにそうでした。どんなに仕事のやり方が変わろうと学校事務職員の本分をしっかりともっているならば、自ずと方向は見えてくると思いました。「共に子どものために働く」「意識改革」「試されている」の言葉が印象に残りました。ありがとうございました。



8月1日(金) 市内文化財巡り

柏崎市文化振興課 池嶋 貴文 様 他

普段絶対にお目にかかることのない貴重な文化財に、大胆にふれることができとても勉強になった一日でした。身近にある寺や神社、文化財が実は資料の宝庫、学びの宝庫であることを改めて実感できました。今日自分が感じた驚き、感動こそが、実は「社会科」の醍醐味であり、子どもたちに伝えていきたい一番のことである、そう感じた一日でした。

自分が勤務している学校の近くに、このようにたくさんの文化財があるとは思いませんでした。西山は歴史も古く、縄文時代の遺跡(土器等)がたくさん発掘されているというのは特に驚きでした。子どもたちにも、ぜひ話を聞かせたいなと思いました。実際に手で触れ、目で見、そして耳で聞く、とても有意義な一日でした。ありがとうございました。



8月4日(月) 小学校英語活動

柏崎市教育委員会 小林 景子

授業の流れやアクティビティなどが分かりやすく、とても楽しく学べました。英語が話せないので不安でしたが、ていねいに教えていただけたので良かったです。学校に戻って他職員に紹介したいと思います。

昨年に引き続き参加させていただきました。ALTの先生方と楽しく活動することができ、よい機会だと思っています。ありがとうございました。



8月6日(水) エコ・クッキング

お菓子・料理研究家 高橋みどり 様

「準備に手間がかかるから」「料理が難しそうだから」と、今まではもち米を料理したことがありませんでした。一晩水に浸さなくても、すぐにおこわを作れるということがうれしく、とても勉強になりました。おしゃれで、おいしくて、すぐにできるお料理を、子どもたちにもたくさん教えてあげられればと思います。エコな後片付けの仕方も、これから実践しようと思いました。ありがとうございました。



8月7日(木) モラルスキルトレーニング

上越教育大学 教授 林 泰成 様

林先生のお話をうかがいながら、子どもたちに欠けていると感じられる自尊感情をどのように育てていったらいいかを考えさせられました。道徳授業にモラルスキルトレーニングを取り入れ、スキルを身に付けながら子どもたちの道徳性を育てていきたいです。午後からのウォーミングアップやロールプレイは、楽しく実際の授業に生かすことができると感じました。



8月8日(金) 海岸巡検

柏崎博物館 箕輪 一博 様
柏崎貝類同行会長 小林 進一 様

柏崎に住んでいながら、柏崎の海についてあまりよく分かっていませんでした。猩々洞の前まで行ったり、象の形をした岩や達磨の形をした岩を見たりすることができます。学校に戻って児童に話を聞かせることができます。

また、実際に海岸で貝についての話を聞

くことができ、良かったです。あれだけたくさんの種類の貝を柏崎で見られるとは思いませんでした。

海の柏崎に住んでいるのに海の柏崎の素晴らしさを知らなかったことに気づきました。丁寧に教えて下さったお二人の講師先生に感謝です。



講習会テキストの新規登録

実施日	講座名	教材名(リンク)	サムネイル／備考
H20.7.25	ホームページ作成入門	HP 作成入門.pdf	テキスト第 5 版(H20.07.25)
H20.7.28	小学校低学年における ICT 活用の指導法	ICT 活用の指導法小学校低学年.pdf	テキスト第 2 版(H20.07.28)
		<各種指導ツール>	詳細は次ページ参照
H20.8.8	小学校中高学年における ICT 活用の指導法	ICT 活用の指導法小学校中高学年.pdf	テキスト第 1 版(H20.08.08)
		<各種指導ツール>	詳細は次ページ参照
H20.8.6	中学校における ICT 活用の指導法	ICT 活用の指導法中学校.pdf	テキスト第 1 版(H20.08.06)
		<各種指導ツール>	詳細は次ページ参照
H20.7.29	Excel 入門	Excel 入門.pdf	テキスト第 4 版(H20.07.29)
		Excel 入門例題.xls	演習用ワークシート
H20.7.29	Excel 活用 1	Excel 活用 1.pdf	テキスト第 4 版(H20.07.29)
		Excel 活用 1 例題.xls	演習用ワークシート
H20.8.1	Word 入門	Word 入門.pdf	テキスト第 4 版(H20.08.01)
		Word 入門演習用例題.doc	演習用例題
H20.8.1	Word 活用 1	Word 活用 1.pdf	テキスト第 4 版(H20.08.01)
		Word 活用 1 例題.doc	演習用例題
H20.8.5	画像編集入門	画像編集_基礎知識.pdf	テキスト第 2 版(H20.08.05)
		画像編集_入門.pdf	テキスト第 2 版(H20.08.05)
		演習データ Web 用.zip	演習用データ(ZIP 形式で圧縮)入門・中級共通
H20.8.5	画像編集中級	画像編集_基礎知識.pdf	テキスト第 2 版(H20.08.05)
		画像編集_中級.pdf	テキスト第 2 版(H20.08.05)
		演習データ Web 用.zip	演習用データ(ZIP 形式で圧縮)入門・中級共通
H20.8.19	小・中学校における情報モラルの指導法	情報モラルの指導法.pdf	テキスト第 3 版(H20.08.19)
		<各種指導ツール>	詳細は次ページ参照
H20.8.18	Word 活用 2 (スタイルとテンプレート)	Word 活用 2.pdf	テキスト第 4 版(H20.08.18)
		書式設定サンプル.doc	演習用例題
		長文例題.doc	演習用例題
		段組文書の例.doc	演習用例題
H20.8.20	Word 活用 3 (差し込み印刷と宛名印刷)	Word 活用 3.pdf	テキスト第 4 版(H20.08.20)
		差し込み文書例.doc	演習用データ
		受講者名簿.xls	演習用データ
		受講者名簿抽出用.xls	演習用データ
		受講者名簿名前定義.xls	演習用データ
		住所録.xls	演習用データ
H20.8.22	Excel 活用 2 (条件判定、表引きなど)	Excel 活用 2.pdf	テキスト第 4 版(H20.08.22)
		Excel 活用 2 例題.xls	演習用例題
		Excel 串刺し計算例題.xls	演習用例題
H20.8.25	Excel 活用 3 (アンケート集計とグラフ)	Excel 活用 3.pdf	テキスト第 5 版(H20.08.25)
		Excel 活用 3 例題.xls	演習用例題
		携帯電話に関するアンケート集計例.xls	演習用例題

■ ■ ■ ■ ■ 情報関連研修講座情報 ■ ■ ■ ■ ■

9 月に実施される情報関連講座のご案内

◆H20.09.12(金) ネットワーク提供型コンテンツの活用

インターネットの基礎知識、IT の活用イメージやコンテンツの種類・特徴について学び、教育情報ナショナルセンターなど、インターネット経由で利用できる教材の利用手順を学習します。また、柏崎市教育情報支援システムやコンテンツサーバーの役割や利用の仕方についても併せて学習する予定です。インターネ

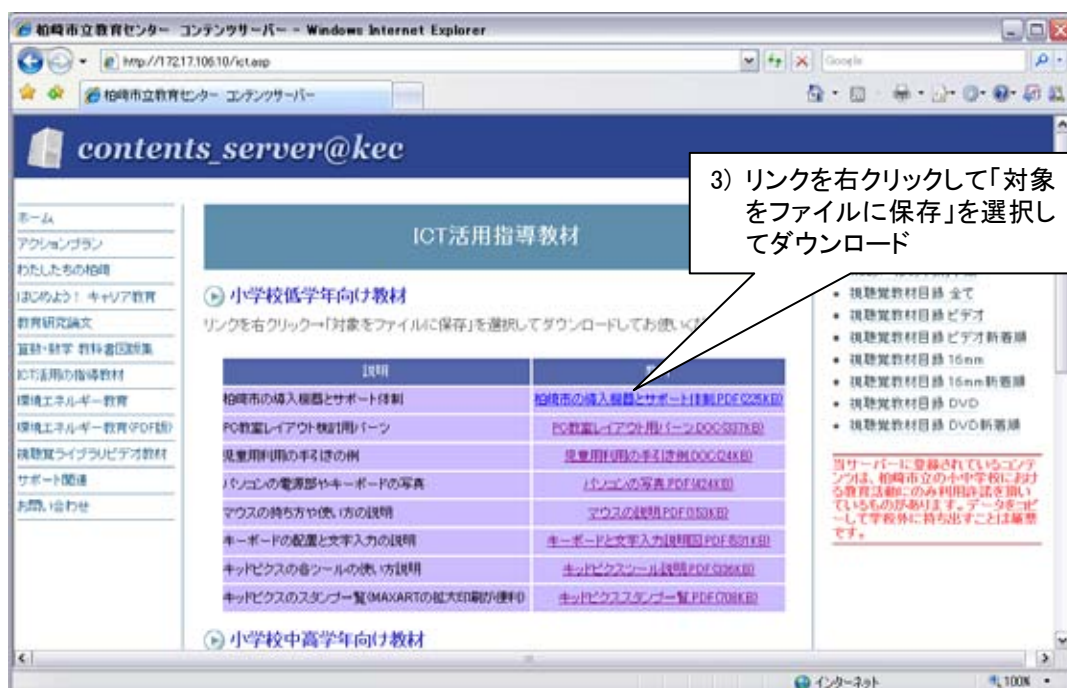
ット上にある教材(コンテンツ)を使ったことがない、支援システムやコンテンツサーバーの役割がよく分からない、以下のキーワードについて、「説明できない」、「自分ではできない」という方はぜひ受講してください。

◆H20.09.25(木) Word 活用4(指導案などの効率的な作成)

Word の作表機能にフォーカスをあて、指導案のような複数ページにまたがる表を含む文書を、効率的に作成するためのポイントについて学習します。Word の作表機能がうまくつかえないという方はぜひ受講してください。

■ ■ ■ コンテンツサーバー情報 ■ ■ ■

小学校低学年～中学校向けに実施された「ICT活用の指導法」講座で紹介した指導ツールを、コンテンツサーバーに登録してあります。学校内限定となりますが、ログイン無しで簡単にアクセスできますので、普段の授業の中で活用してみたいはいかがでしょうか。



なお、同じ教材を柏崎市教育情報支援システムの教材データベースにも登録してあります。先生用のアカウントでログイン後、「教材 DB」からキーワード「ICT」で検索してみてください。自宅など、教育用ネットワーク外からのアクセスはこちらをご利用ください。

■ ■ ■ セキュリティ情報 ■ ■ ■

セキュリティホール情報

マイクロソフトより、8月13日付けで8月の定期更新として、Windowsなどの重要な更新が下記のように公開されました。まだUpdateが済んでいないようでしたら、至急Windows Updateなどを実施していただくようお願いいたします。なお、ご利用の環境によっては以下の更新以外にも、別の更新がリストアップされる場合があります。また、一旦更新プログラムが提供された後で再度問題が見つかり、予告なく新たな更新が提供される場合もありますので、「自動更新機能をONにする」、「定期的に更新をチェックする」などして、随時提供される更新が速やかに適用されるようにしてください。

No.	更新の名称	脆弱性等の情報	対象	更新先	深刻度
1	MS08-041 Accessの重要な更新	Microsoft Access Snapshot Viewer の ActiveX コントロールの脆弱性により、リモートでコードが実行される (955617)	Office または Access の 2000,XP(2002),2003 Access Snapshot Viewer		
2	MS08-042 Wordの重要な更新	Microsoft Word の脆弱性により、リモートでコードが実行される (955048)	Office または Word の XP(2002),2003		
3	MS08-043 Excelの重要な更新	Microsoft Excel の脆弱性により、リモートでコードが実行される (954066)	Excel2000,XP(2002), 2003,2007,2003Viewer, 2004/2008forMac など		
4	MS08-044 Officeの重要な更新	Microsoft Office フィルターの脆弱性により、リモートでコードが実行される (924090)	Office 2000,XP(2002), 2003,Project2002, ConverterPack,Works8		
5	MS08-045 Internet Explorer の重要な更新	Internet Explorer 用の累積的なセキュリティ更新プログラム (953838)	IE 5.01, 6, 7		
6	MS08-046 Windowsの重要な更新	Image Color Management System の脆弱性により、リモートでコードが実行される (952954)	Windows 2000,XP, 2003Server		
7	MS08-047 Windowsの重要な更新	IPsec ポリシーの処理の脆弱性により、情報漏えいが起こる (953733)	Windows Vista, 2008Server		
8	MS08-048 Outlook Express と Windows メール の重要な更新	Outlook Express および Windows メール用のセキュリティ更新プログラム (951066)	Outlook Express 5.5, 6 Windows メール		
9	MS08-049 Windowsの重要な更新	イベント システムの脆弱性により、リモートでコードが実行される (950974)	Windows 2000, XP, Vista 2003Server,2008Server		
10	MS08-050 Messenger の重要な更新	Windows Messenger の脆弱性により、情報の漏えいが起こる (955702)	Exchange Server 2003 Exchange Server 2007 (企業等におけるサーバー向けの製品が対象です)		
11	MS08-051 Power Point の重要な更新	Microsoft PowerPoint の脆弱性により、リモートでコードが実行される (949785)	Power Point 2000, XP(2002),2003,2007, 2004forMac など		

 Win は Windows Update または Microsoft Update から更新を実行します。

 注意  警告  重要  緊急 は右側ほど深刻度が高く、緊急の対応を要します。

プロジェクト K

(科学技術教育班だより)

研修会・事業の一コマより

○小・中合同野外研修会「拇池・八方尾根」

- ◇日 時 7月26日(土)～27日(日)
- ◇会 場 拇池自然園・八方尾根
- ◇内 容 柏崎植物研究グループの先生方と、拇池・八方尾根の色とりどりの花を観察しながら、亜高山帯から高山帯への植生の遷移と、湿地から乾地への植物相の変化を学びました。特に、八方尾根では、ハッポウタカネセンブリやハッポウウスユキソウなどの、固有種を確認することができました。また、蛇紋岩地質による高山植物の降下と亜高山帯植物の上昇が見られ、植生の逆転についても十分に観察することができました。



○中学校分野別研修会 第1分野「化学変化と原子・分子」

- ◇日 時 7月31日(木)
- ◇会 場 教育センター 科学実習室
- ◇内 容 金属を加熱したときの質量変化を理論値に近づける実験方法の工夫や、酸素との化合を視覚化した教材の紹介、また非常に手軽なテルミット反応の実習などを行いました。



○生物標本参考作品展

- ◇日 時 8月2日(土)～8月16日(土) 9:30～閉館時間
- ◇会 場 ソフィアセンター 2F展示ホール
- ◇内 容 参考となる生物標本と標本の作り方の展示を行いました。

○宿泊野外研修会(主催 上越科学技術教育研究会)

- ◇日 時 8月3日(日)～8月4日(月)
- ◇会 場 志賀高原
- ◇内 容 東館山高山植物園や四十八池等の見どころを巡る植物研修会でした。

○生活科理科研修会「紙すき」

- ◇日 時 8月6日(水)
- ◇会 場 教育センター 科学実習室
- ◇内 容 ペットボトルとビー玉を利用した紙すき方法の紹介と実習を行いました。



○理科研修「地層(教育センター～聖ヶ鼻方面)」

- ◇日 時 8月7日(木)
- ◇会 場 柏崎西部
- ◇内 容 柏崎の西部で地層の学習を行うとしたらここ、というポイントを巡り、地層の成り立ちと、その地点で観察できる見どころについて研修しました。[赤坂山～田塚鼻・聖ヶ鼻周辺の予定；水性堆積物(砂岩・泥岩・礫岩)と火山性堆積物(輝石安山岩や軽石凝灰岩など)の違い、微小化石、ノジュール、柱状節理、層内褶曲、ケイ藻化石、角セン石の捕獲巨晶など]

○生活科理科研修「草木染」

- ◇日 時 8月11日(月)
- ◇会 場 教育センター 科学実習室
- ◇内 容 タマネギ、ヨモギ、クズを利用した染色の実習を行いました。

○夏の星空観察会

- ◇日 時 8月12日(火)
 ◇会 場 教育センター
 ◇内 容 極大の日のペルセウス座流星群を眺めながら、木星、アルビレオ、M13 ヘルクレス座球状星団、M57 こと座リング星雲、月などの観察を行いました。

○中学校第2分野研修会「天気とその変化」

- ◇日 時 8月19日(火)
 ◇会 場 教育センター 科学実習室
 ◇内 容 水蒸気の飽和の概念形成が不十分なまま、飽和水蒸気量曲線の学習に入ってしまう学習展開では、実感を伴った理解を促すことは難しくなります。水蒸気の飽和を確認する実験や、気圧増減による温度変化と結露の様子、熱気球による空気の上昇などの実験を通して、目に見えない水蒸気の飽和を捉え、雲のでき方の理解につなげさせるための研修でした。

○小学校学年別研修会 第6学年「電流のはたらき」

- ◇日 時 8月22日(金)
 ◇会 場 教育センター 科学実習室
 ◇内 容 電流と磁力の関係についての追究活動を通して、電流の働きについての見方や考え方を養うための教材や単元構成の研修を行いました。電磁石釣り竿やクリップモーター、紙コップやガムテープを使ったスピーカー作りも行いました。また、実験の再現性を高めるために焼きなまし鉄を使用する方法についても実習で確認しました。



○標本作製相談会（名前調べ会）

- ◇日 時 8月23日(土)
 ◇会 場 ソフィアセンター
 ◇内 容 標本（植物、昆虫、貝、海そうなど）の名前調べを行いました。まとめ方等についても、講師の先生方から適切な助言をいただきました。

○他…要請による研修会各種

8月末～9月中旬の行事予定（研修会など）

○小学校学年別研修会 第3学年「光であそぼう」

- ◇日 時 9月9日(火)
 ◇会 場 教育センター 科学実習室
 ◇内 容 鏡を使った光の的当て実験を上手に進めるための工夫や、虫めがねが光を集める様子を見る実験方法の伝達、また簡単ソーラークッカーの製作などを行います。実験を通して、変化に関わる光の性質についての見方・考え方を持たせる研修です。

○小学校学年別研修会 第3学年「明かりをつけよう」

- ◇日 時 9月17日(水)
 ◇会 場 教育センター 科学実習室
 ◇内 容 身近で意外性のあるものを使った通電実験を通して「電気を通すもの」についての見方や考え方を養うとともに、回路についての実感を伴った理解を促す指導についての研修会です。

○第43回柏崎刈羽地区児童生徒科学作品展

- ◇日 時 9月13日(土)～23(火・祝)
 ◇会 場 柏崎市立博物館
 ※表彰式 24日(水) 16:00～ 《特別賞・金賞受賞者》

○第43回柏崎刈羽地区児童生徒科学研究発表会

- ◇日 時 9月30日(火) 13:30～
 ◇会 場 教育センター

○他…要請による研修会各種

育成センター通信	0808	柏崎市青少年育成センター 〒945-0833 柏崎市若葉町2番31号 TEL0257-20-7601 FAX0257-23-4610 ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp
----------	------	--

9月の予定

日	曜	こ と が ら	日	曜	こ と が ら
2	月	高校下校育成活動再開	21	日	第18回トライウォーク
5	金	昼間育成活動	22	月	夜間育成活動
10	水	昼間育成活動			

暑さの中で 地区PTA育成活動実施！

去る8月2日を中心として各中学校区単位で地区PTA育成活動が行われました。この育成活動に参加して下さった方々は、各小中学校の保護者の皆さんや先生方そしてそれぞれの地区の育成委員の方々です。当該の地区で子供たちが立ち入りそうな公園や施設などを中心に育成活動をしました。ある地区では、ゲームセンター・スーパー・コンビニ・有害図書等自販機の置いてある施設等まで育成活動しました。どの地区も暑さのため出歩いている子供たちにほとんど出会わなかったとの報告がありました。「ゲームセンターには子供のやりたがるゲームや景品がたくさんあった。」「通学路に有害図書等の自販機が存在し、子供の小遣いで買える値段で販売されていた。」参加した保護者の方々から、このような驚きの声が上がっていました。ある保護者は、「地区PTA育成活動に参加して子供たちを取り巻く環境が脅かされている」という認識を深めたと語っていました。



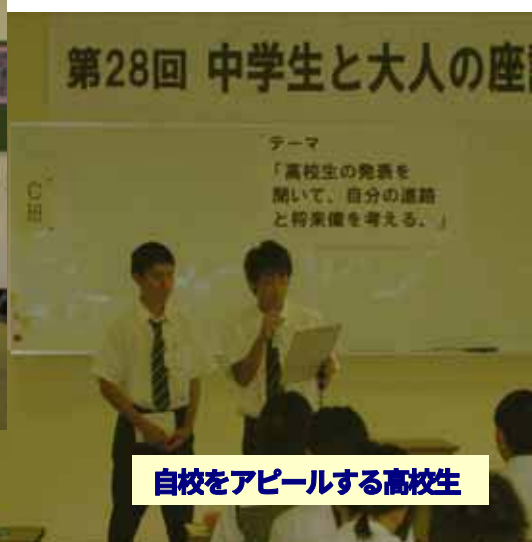
有害図書等自販機前での育成活動中



コンビニで育成活動中

熱心に意見を交換した

第28回「中学生と大人の座談会」



去る8月17日（日）に第28回「中学生と大人の座談会」が行われました。この会には、柏崎刈羽の中学生27名、柏崎地区の高校生14名、PTA20名、育成委員14名など計84名が参加しました。

まず、全体会では、高校生から「我が校のここがすばらしい」について熱く語ってくれました。それを受けて7班に分かれて中学生や高校生が自分の進路と将来像について意見交換を熱心に行いました。その合間に保護者や育成委員などの大人から適切なアドバイスがありました。最後には、全体会の中で各班の話し合いの概要が発表されました。

この会に出席しての感想や意見を中学生・高校生・大人にそれぞれ聞いてみました。

《中学生》

- 自分の夢について学校の成績であきらめかけていたけれど、この座談会であきらめないで頑張ってみようと思った。
- ここに来て高校生の発表を聞き、自分の将来について考えることができた。意見交換で普段聞けなかった親の意見を聞いてよかった。

《高校生》

- 自分から動くことが大切！これから人生が進むにつれて他人から動いてくれることを期待していたら何もできません。自分が動くから他人は動いてくれるものだ。
- 保護者や中学生の話を聞き、自分でもいろいろ学べてよかった。

《大人》

- 高校生が自分の学校に誇りに思っていることが伝わってきた。夢をもつことが大切だと誰も分かっているが、実はそれが難しい。夢をしっかりつかめるかどうかがかぎだ。

メダリストの感謝の心

教育相談係長

カウンセラー 小林 東



前回の、アテネオリンピックの時期にも、このリレーエッセイの執筆番が回ってきた記憶がある。今回もタイムリーなので、北京オリンピックについて感じたことを書くことにする（ということは、このエッセイを4年も書き続けていることになる）。

北京オリンピックでメダルを獲得した選手のインタビューが、度々放映（放送）されている。どの選手も、勝利の喜びを噛み締めた嬉し涙、或いは、あと一歩で届かなかった悔し涙の中で、いろいろな言葉を語っていたが、本当に感動的なものばかりだった。

ある選手は敗者の挫折・屈辱を何度も味わう中で、またある選手は怪我や不調に見舞われながらも、ただこのオリンピックの舞台に立てることを目指して一からやり直し、ひたむきにリハビリや練習を重ねたり対戦相手を研究して来たという。

私などは、彼ら選手の苦しみや払った努力の何万分の一にも及ばない経験しかしていないし、実際の選手の苦悩のプロセスは、こちらの想像を遙かに超えるものに違いない。だから、彼らが「応援してくれた皆さんに感謝したい。」と言っているのを見ると、それだけで目頭が熱くなるし、なぜ、それほどまで、彼らは過去の苦しみを今の感謝の言葉に変えられるのだろう、すごいなあ、と驚かされる。結果はどうあれ、目標の舞台に立てた、そして、力を出し尽くした、という達成感と充実感に満ちていなければ、選手からそのような言葉は出てこないだろう。

前回のアテネの時はそれほど感じなかったのだが、今回の選手のインタビューには、どれも周囲への感謝の言葉がとても強く表れているように思える。北島康介選手が100メートル平泳ぎで優勝した直後のインタビューで見せた感涙はそれを象徴していた。

他の競技の連覇者でも、前回のアテネでは、“自分の為のメダル”だったのが、今回は“自分のためというより他人の為に”とか“支えてくれた人の分まで”とか“無念にも出場が叶わなかった他の選手の分まで”と語っていた選手が多いように感じる。家族に感謝、友に感謝、仲間に感謝、コーチに感謝、ファン（応援者）に感謝、・・・等々。それだけ、他人との絆や繋がりの意識を持ちながら、自分だけではなく協働作業でオリンピック出場を目指してきた、ということだろう。どれも、自分が一番苦しい時に支えてくれて共に歩んできた人への感謝の気持ちに溢れていた。

今の時代、たとえ同じ家族同士であったとしても、人の苦しみにとことん寄り添ったり、人の可能性を最後まで信じきったりすることは難しい。そういう世の中になったと感じる。メダリストたちには、間違いなく、周囲に、苦しみの同伴者が居たはずだ。「私はあなたと最後まで苦しみを分かちます。私はあなたを最後まで信じている。」と。

それは、メダル以上に、かけがえのない財産であり幸せだと思う。

日	曜日	研修・センター行事・会議	学校訪問	出張・その他関係事業
1	月	所内会議 13:00～		
2	火			
3	水			出・県センター代表者会議(山本、植木)
4	木	研・「教科研修員研修」15:00～17:00		本会議①
5	金		第一中学校計画訪問(矢沢)13:00	科・机搬入(終日) * 退職校長会(第一研)13:00～
6	土			
7	日			
8	月			出・新学習指導要領説明会(県セン: 矢沢) 終日 本会議②
9	火	科・小3「光であそぼう」15:00～17:00 ふ・ふれあいルーム宿泊体験		本会議③ 科・作品展作品搬入(博物館) * 養護教諭グループ研修(一研)15:00
10	水	ふ・ふれあいルーム宿泊体験		科・作品展作品搬入(博物館) 就学相談(元気館: 小林)13:00～ いなほの会相談会(小林)19:00～
11	木	研・「不登校への支援」15:00～17:00		科・作品展作品搬入(博物館) 心のケアセンター(小林)11:00～ 生徒指導研修(第一研他)14:30～
12	金	情・「ネットワーク提供型コンテンツの活用」15:00～ 科・科学作品展審査会(博物館)終日		
13	土	第43回 柏崎刈羽地区児童生徒科学作品展(博物館)～23日		
14	日			
15	月	敬老の日		
16	火			
17	水	研・「教師力の向上研修」15:00～17:00 科・小3「明かりをつけよう」15:00～17:00		* 柏刈養護教員研修グループ部会(第一研)15:00～
18	木			* 柏刈養護教員研修グループ部会(第一研)14:30～
19	金			
20	土			
21	日			トライウォーク
22	月	科・要請 半田小「地層」AM		
23	火	秋分の日		
24	水	研・「クレーム対応」15:00～17:00 科・科学作品展表彰式(博物館)16:00～		科・机・作品搬出(終日)
25	木	情・「Word活用4(指導案の効率的な作成)」15:00		科・作品搬出 校内検討会(半田小: 小林)9:00～
26	金			
27	土	ふ・ふれあいルーム卒業生親睦会		
28	日			
29	月			翔洋中等教育学校研究授業(植木)
30	火	科・第43回 柏崎刈羽地区児童生徒科学研究発表会 PM		

☆今月の催し☆

9/13～22 柏刈地区児童生徒科学作品展(博物館)
9/30 柏刈地区児童生徒科学研究発表会

研・教育研究班 科・科学技術教育班 相・教育相談班
ふ・ふれあいルーム ラ・視聴覚ライブラリー 情・情報教育研修
(滝)・滝澤学校訪問相談員 (寺)・寺瀬学校訪問相談員
出・出張 *・センター施設貸出

平成20年度 月間予定表

10月

柏崎市立教育センター

日	曜日	研修・センター行事・会議	学校訪問	出張・その他関係事業
1	水	ふ・ふれあいルーム三者面談		出・県センター会議(植木)終日
2	木	ふ・ふれあいルーム三者面談		
3	金	研・学校経営「管理職のためのICT活用講座」15:00～ 科・小4「水の3つのすがた」15:00～17:00 ふ・ふれあいルーム三者面談		
4	土			
5	日			
6	月			
7	火	研・進路指導「いきいきゲーム体験講座」13:00～17:00 科・初任者研修 PM		
8	水	科・要請:荒浜小学校地層観察		就学相談(カンR)13:00～
9	木	ふ・ふれあいルーム前期通級終了日		
10	金	相・いろいろ体験グループ(小学A/C)16:00～ 前期終業式		出・適応指導教室・訪問指導合同研修会(県セン) 前期終業式(県小校長会)
11	土			
12	日			
13	月	体育の日		
14	火	ふ・ふれあいルーム学校訪問(～24日)		出・上越理セン野外研修会(植木)
15	水			
16	木			
17	金	研・食育研修「北条南小学校研究発表会」		出・SC連絡協議会(小林:県セン)13:00～
18	土			
19	日			県知事選
20	月	ふ・ふれあいルーム通級開始日 相・いろいろ体験グループ(小B)16:30～		
21	火		第一中学校訪問(滝)10:00～ 第二中学校訪問(寺)10:00～ 北鯖石小学校訪問(寺)15:30～	出・新採用研修(矢沢:長岡東中) *退職校長会理事会(第一研)13:00～
22	水	研・教科研修員研修 15:00～17:00 科・要請:半田小学校科学クラブ		*柏崎地域振興局健康福祉部研修会(多目研)11:00～
23	木		第三中学校訪問(滝)10:00～ 南中学校訪問(寺)10:00～	
24	金	相・いろいろ体験グループ(中学①)18:30～		
25	土			
26	日			
27	月			出・いきわく科学賞1次審査(植木:上越)
28	火	ふ・ふれあいルーム陶芸教室①	鏡が沖中学校訪問(滝)10:00 西山中学校訪問(寺)10:00～	出・いきわく科学賞1次審査(植木:上越)
29	水	研・英語研修「南中学校研究発表会」		出・いきわく科学賞1次審査(植木:上越) 上越地区セン総会(PM)
30	木	研・学校保健研修「AIDSと性感染症」15:00～17:00	瑞穂中学校訪問(滝)10:00～ 東中学校訪問(寺)10:00～	
31	金	研・国語研修「国語教材研究2」 科・小6「水溶液の性質」15:00～17:00 相・いろいろ体験グループ(中学②)18:30～		
☆今月の催し☆			研・教育研究班 科・科学技術教育班 相・教育相談班 ふ・ふれあいルーム ラ・視聴覚ライブラリー 情・情報教育研修 (滝)・滝澤学校訪問相談員 (寺)・寺瀬学校訪問相談員 出・出張 *・センター施設貸出	

教育センター事業の参加・利用状況(先月末)

	研修講座・事業名		4月の 利用数	5月の 利用数	6月の 利用数	7月の 利用数	先月までの 利用合計数	19年度の 利用合計数	
教育 研究 班	専門研修講座　＊		0回	4回	5回	12回	21回	40回	
			0人	88人	183人	342人	613人	1,365人	
	共催研修、研修講座		1回	1回	1回	0回	3回		
			41人	41人	80人	0人	162人		
	学校の要請研修会		0回	0回	0回	0回	0回	1回	
			0人	0人	0人	0人	0人	1人	
	調査研究員会,教科研修員会		0回	1回	1回	0回	2回	11回	
			0人	3人	3人	0人	6人	46人	
	教育情報化研修講座　＊		1回	5回	5回	6回	17回	41回	
			42人	52人	65人	48人	207人	277人	
情報教育主事の要請支援等		18回	13回	19回	18回	68回	109回		
		113人	44人	175人	397人	729人	1,017人		
その他の相談・利用・参加数		0回	0回	0回	1回	1回	44回		
		0人	0人	0人	18人	18人	54人		
教科書センター利用閲覧数		0人	0人	216人	94人	310人	252人		
科 学 技 術 教 育 班	理科研修講座　＊		2回	3回	3回	4回	12回	16回	
			58人	23人	18人	84人	183人	133人	
	学校等の要請研修		1回	1回	0回	2回	4回	21回	
			2人	19人	0人	49人	70人	791人	
	地域の自然研修・観察会		1回	2回	2回	1回	6回	8回	
			24人	92人	25人	48人	189人	367人	
	科学教育振興事業(科学の祭典・科学教室等)		0人	0人	3,847人	0人	3,847人	4,600人	
	理科教育の相談・支援		41件	38件	85件	78件	242件	263件	
理科教材・物品の貸出		24件	11件	33件	26件	94件	115件		
(教職員研修の合計)		61人	39人	243人	100人	443人	462人		
教 育 相 談 班	カウンセリングルーム来室相談		新規相談件数	71件	11件	20件	16件	118件	227件
			のべ相談件数	98件	71件	72件	64件	305件	649件
	学校訪問相談		0回	16回	16回	7回	39回	138回	
	家庭訪問相談		訪問対象者数	4回	4回	4回	4回	16回	49回
			訪問のべ人数	14人	16人	13人	15人	58人	17人
	電話相談		5件	1件	0件	1件	7件	32件	
	ソーシャルスキルトレーニング		0回	5回	4回	5回	14回	42回	
			0人	28人	21人	29人	78人	218人	
	ふれあいルーム在籍人数		小学生	0人	1人	1人	2人	4人	15人
			中学生	14人	14人	13人	13人	54人	177人
	ふれあいルーム通級日数		16日	20日	21日	15日	72日	192日	
ふれあいルーム通級のべ人数		小学生	0人	10人	15人	16人	41人		
		中学生	141人	171人	139人	93人	544人		
ふれあいルーム学校復帰人数(部分復帰を含む)		10人	0人	1人	0人	11人	16人		
視 聴 覚 ラ イ ブ ラ リ ー	16ミリフィルムの貸し出し		10本	7本	7本	15本	39本	131本	
	ビデオテープ・DVDの貸し出し		21本	30本	75本	19本	145本	369本	
	視聴覚機材の貸し出し		66台	77台	66台	83台	292台	706台	
	編集,借用,相談等の来室者		64人	92人	92人	75人	323人	929人	
	機器操作研修会		7人	2人	7人	2人	18人	62人	
	親子映写会・児童クラブ映写会		0人	0人	0人	0人	0人	100人	
教育団体, P T A, 市民等の利用			125人	155人	334人	196人	810人	3,842人	
教育センター事業の参加・利用総数			967	1,098	5,607	1,815	9,487	16,896	

ガリレオ・ガリレイはイタリアの天文学者で近代科学の父と言われ、経験的・実証的方法を用いる近代科学の端緒を開いた人です。

新しい教育の創造を志向する私たちにも、ガリレオ・ガリレイのごときたゆまざる創造と検証の精神が必要であるという趣旨から、情報紙の名称を「GALILEI」としています。

教育センターと青少年育成センターの情報とともに、柏崎の教育を広く発信していきます。



945-0833 新潟県柏崎市若葉町 2-31

柏崎市立教育センター

TEL 0257-23-4591
FAX 0257-23-4610

柏崎市青少年育成センター

TEL 0257-20-7601
FAX 0257-23-4610